

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2025年3月23日

司会：竹村竹生
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌465「うれしき朝よ」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美		一 同
教会学校		
讃 美	讃美歌296「試みの嵐」	一 同
聖書朗読	創世記49:8-12	
奨 励	創世記の福音(第37回)	牧 師
主 題	「最期の仕事」	
讃 美	讃美歌520「静けき河の岸边を」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所		

※印のところでは御起立下さい。

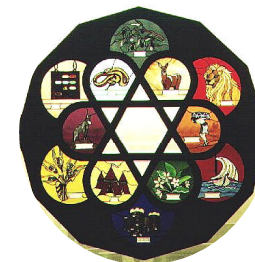
- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



《今週の歩み》

3/23(日) 聖日礼拝
/24(月)
/25(火)
/26(水)
/27(木)
/28(金) 牧師帰国予定日
/29(土) 13-16子供オーブハウス



《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「落胆」

(渡辺和子著「愛をこめて生きる」p.25)より

私は人から悪口を言われたり誤解されて悲しくなる時、「イエスさまだって、結構悪くお言われになったのだから、私のようなものなら当たり前」と、変に納得してしまうところがある。

がっかりすることに出会った時も同じで、イエスさまもそのご生涯の中で、ユダヤ人たちの心の頑迷さ、ご自分の弟子たちの物わかりの悪さ、そしてふがいなさに、ずいぶん落胆もなさったのではなかろうかと思い、慰められることがある。キリストは、このような落胆の淋しさをも味わうために、人となってこの世に生まれてくださったのに違いない。

キリストが十字架につけられ死んだ後、二人の弟子がエルサレムから少し離れたエマオという村に向かって歩いていた。彼らは落ち込んでいた。それもそのはず、イスラエルを救うであろうと望みをかけていたイエスが、何ともだらしのない死に方をしたからである。途中から道連れとなった男が、実は復活したキリストであると露知らず、二人は自分たちの落胆ぶりを隠さなかった。その二人に向かってキリストが言う、「ああ、愚かで心の鈍いため、信じられない者よ。キリストは必ず、これらの苦難を受けて、その栄光に入るはずではなかったか」

エマオの出来事から二千年たった今日、私達が同じように、期待外れに出会って落胆している時、キリストは、より大きな落胆を味わっているのではなかろうか。それは私達が落胆していることが、実は救いのために不可欠なのだという事実にはきづかずに、ひたすら嘆いてのみいる私達へのキリストの落胆である。しかしながら、キリストはそんな“愚かで心鈍い”私達を愛していてくださる。そして今日も、道連れとなって傍らを歩いていてくださるのだ。